



Proself Disk

インストールガイド



North Grid

はじめに

この度はオンラインストレージ構築パッケージ「Proself」用クライアントソフトウェア「Proself Disk」をご購入頂き、誠にありがとうございます。このドキュメントには Proself Disk のインストールから使用できるようになるまでの手順が書かれています。ぜひ最後までお読みくださるようお願いいたします。

注意事項

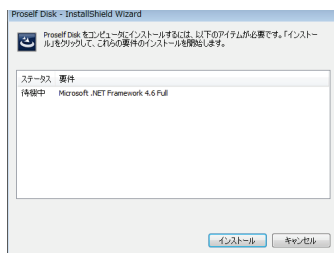
Proself Disk を使用するためには、Proself がインストールされている必要があります。あらかじめ Proself をインストールし、動作するのを確認した上で Proself Disk のインストールを行ってください。

Proself Disk のインストール

インストール方法

Proself Disk をインストールするには以下の手順で行います。

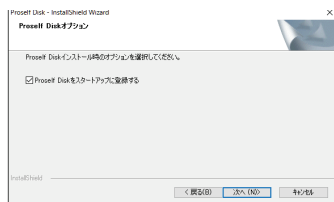
CD を挿入すると自動的にインストーラーが起動します。Proself Disk を動作させるには対応するバージョンの .Net Framework が必要です。対応するバージョンの .Net Framework がインストールされていない場合は .Net Framework インストール確認ダイアログが表示されるので、「インストール」をクリックしてください。「キャンセル」をクリックするとインストーラーが終了します。すでに対応するバージョンの .Net Framework がインストールされている場合、ダイアログは表示されません。



.Net Framework のインストール完了後に OS の再起動を求められた場合は、「はい」をクリックして OS を再起動します。

※OS の再起動後 Proself Disk のインストーラーが自動で起動します。

途中で Proself Disk をスタートメニューに登録するかオプションを選択できます。

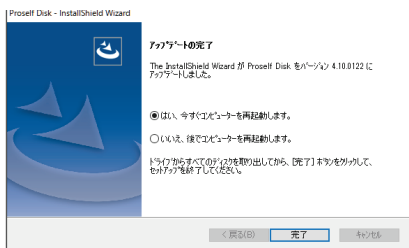


スタートメニューに Proself Disk が登録されればインストール完了です。

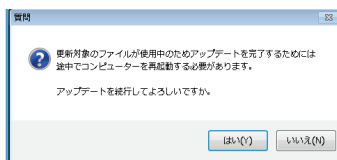
アップデート方法

アップデートするには、最新の Proself Disk.exe をクリックします。

画面の指示に従ってアップデートしてください。



アップデートが完了すると、OSの再起動を求められますので、OSを再起動します。



場合によってはアップデート途中で OS 再起動を求めるダイアログが表示されますので、画面の指示に従って続行してください。

※OS 再起動後アップデートを実施したユーザーと同じユーザーでログオンしないとアップデートが再開されませんのでご注意ください。

アンインストール方法

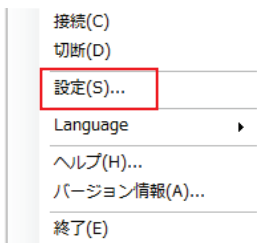
Proself Disk をアンインストールするにはコントロールパネルのプログラムのアンインストールから削除してください。

Proself Disk の起動

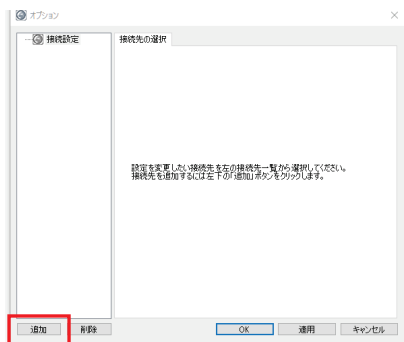
スタートメニューから「Proself Disk」を実行すると Proself Disk が起動します。Proself Disk は起動するとタスクトレイに常駐します。



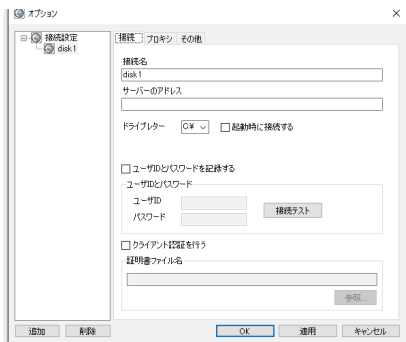
最初に接続先を設定する必要があります。タスクトレイのアイコンで右クリックし「設定」をクリックします。



「設定」をクリックするとオプション画面が表示されます。

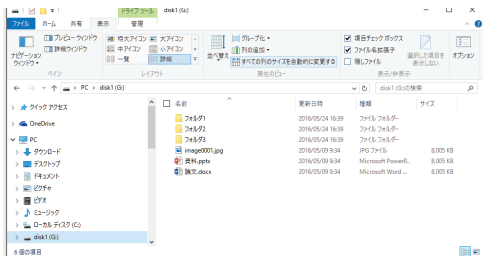


左下の「追加」をクリックして新規接続先を作成します。



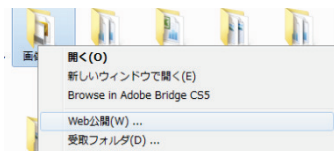
接続先サーバーアドレスには **Proself** のインストールしたサーバーアドレスに加えてユーザーフォルダまたはグループフォルダ名まで入力します。

例 インストールしたサーバーアドレスが「<http://www.proself.jp/>」、ユーザーフォルダ名が「user001」であった場合、「<http://www.proself.jp/user001>」と入力します。



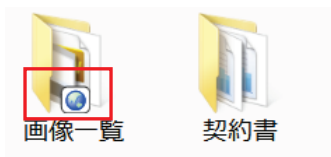
成功するとローカルドライブが追加されます。エクスプローラと同様の操作でファイルのアップロード・ダウンロード、フォルダ作成やダブルクリックでのファイルの編集などが行えます。

ファイルまたはフォルダを右クリックすることで、Web 公開と受取フォルダの設定を行うこともできます。



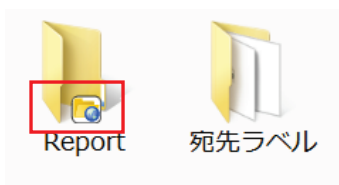
Web 公開設定

Web 公開を設定したフォルダ（またはファイル）には Web 公開中であることを示すアイコンが表示されます。



受取フォルダ設定

受取フォルダを設定したフォルダにも、受取フォルダであることを示すアイコンが表示されます。



サーバーとの接続にプロキシサーバーを経由する場合は、タスクトレイのアイコンで右クリックし「設定」をクリックします。オプションダイアログを開き、「プロキシ」タブをクリックして、設定を行ってください。

項目	説明
自動構成スクリプトを使用する	自動構成スクリプトの場所を入力します。 「自動構成スクリプトを使用する」にチェックを入れ、「スクリプトの場所」を空白にした場合は自動取得されます。
手動設定する	使用するプロキシのアドレスを入力します。
プロキシサーバーには認証が必要	プロキシサーバーへのアクセスに認証が必要な場合はチェックを入れてユーザーID とパスワードを入力します

ログファイルの出力は、その他タブをクリックした画面で設定できます。「ログを出力する」をチェックし、「参照」ボタンを押してログファイルの出力先を指定します。

ログファイル名を指定することもできます。

